



学校だより

川越市立山田中学校

令和4年6月7日 発行

学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

勇往邁進

校長 守岡 信一

本校の体育祭を5月28日に開催しました。

昨年度の体育祭は、まん延防止等重点措置が適用されていた中での開催であり、事前練習も含め、大変不自由なものでしたが、今年度は、ご家庭でも感染症対策を徹底していただいたおかげで感染者なしでの開催となりました。応援席等でのマスクの着用、種目間の手洗いと手指消毒があるものの、保護者の入場を全学年に拡大し、大きな声援をいただきながらの開催となりました。感染症対策にご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。

今年の体育祭のスローガンは「勇往邁進～つかみとれ光輝く優勝を～」でした。クラスや団の仲間と優勝を目指して突き進む、勇気をもってひたすら前進するなど、様々な挑戦を想起させるこのスローガンは、シンプルであると同時にとても美しいものです。開会式では生徒たちに、「真剣に、最後まで諦めない」「競技には勝ち負けがあるが相手にも大きな声援を」という願いを私は伝えました。最後まで諦めない姿が人に感動を与え、本気で競り合うことができるのは仲間の存在があつてこそ、そして支えてくれている保護者や地域の方々、先生方のおかげで体育祭が開催できるということ、そのような人たちへの感謝の気持ちを忘れないでほしいという私の想いを伝えました。

開会式での吉池団長、杉田団長、杉浦団長の力強い選手宣誓、一糸乱れぬ全校ラジオ体操はとても素晴らしいものでした。

各競技も見応えがありました。

「台風の目」では回転に振り回されそうになりながらも、できるだけ小さく回ろうと4人の並び方を工夫していました。また、「サバイバルリレー」では、ペアで助け合ってネットを上手にくぐり抜け、絶妙のコンビネーションで、楽しそうに、しかも高速でボールを運んでいくペアに歓声が起こっていました。縄跳びをしながら50mを走る「縄跳び走」では、どれだけ一生懸命練習しても、当日、上手いかずにゴールするのに手間取ってしまうこともあります。そのような選手たちにも、応援席の仲間や保護者の方々から温かい拍手が送られていたことも素敵だなあと感じました。クラスの代表が競い合う「色別対抗リレー」では、やはり3年生の力強さが印象に残りました。「全員リレー」はクラスの団結の結晶のような競技です。この種目に勝利するために、クラスで一丸となり、走順を入念に考え、バトンパス等を練習してきたはずですが、疲れていても歯を食いしばり、最後まで諦めずに全力で走る生徒たちの姿に私も目頭が熱くなりました。まさに、「真剣に、最後まで諦めない」山中生のすばらしい姿でした。そして一人一人が輝いて見えました。

コロナ禍で、授業参観等で生徒たちの様子を十分に公開できていない現状ではありますが、本校の生徒たちは心優しく、たくましく、しなやかに成長しています。その様子が、体育祭を通して、少しでもお伝えできたのではないかと考えております。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。